



# 園だより

令和2年 7月1日 二条保育園発

梅雨の晴れ間の青空からスタートした7月。園庭では水遊び、砂山掘り、ヤマモモ食べにいそしむ子どもたちです。元気に泳いでいた鯉のぼりも今日で役目を終えます。自粛から、最後の一人が園に帰ってきました。大きくなった久々登園の彼、朝はよく泣きましたが少しすると友だちと遊び始め、機嫌よく過ごしてくれたのでうれしく思っています。二条の子ども勢ぞろい。

コロナのこういった状況でどんな保育を展開していけるのか…知恵の出どころです。体調管理、園内消毒をしっかりと、健康でゴハンがしっかり食べられるような日々を送れるように、取り組んでいきます。

プール遊びも始まります。例年以上に気を配るところが多くなり、時間をかけています。先日のお願い文書をよく読んでいただき、安全にプール遊びができるようご配慮、ご協力ください。



## 行事予定

- 6日(月) 七夕持ち帰り
  - 8日(水) 月組日帰り八瀬  
…宿泊は中止で日帰りに変更
  - 15日(水) おたんじょう会
  - 16日(木) プール開き
- ※詳細については別途お知らせします

ホームページの『職員から』のお便りがグラウンドフィナーレを迎えます。自粛生活のちょっとした足しにしていただけましたか？これからもこの個性的な面々で、活かしあいながら保育を盛り上げていきます。よろしくをお願いします。

ホームページにも載せましたが、給食でお世話になっている業者さんから大きなスイカをいただきました。それはそれは甘くて、おいしいスイカでした。「こんな中、医療従事者の方だけじゃなくて、保育園の先生方だってがんばっておられるもんね」と。「あ～そんなふう感じて応援していただいで…」と思うとありがたくて、しみじみしながら職員みんなで分け合っていました。

このスイカだって、そう思っただけの方がいてこそ、二条に届けてもらえたもの。ここに至るまでには、畑で育てて収穫して下さった方がいるはず。流通するには、ドライバーさんが運んで下さったはず。市場でも大切に扱われて、多くの人の手を介して、今、私たちがおいしくいただいているのだな～と。リモートだけで成り立つ仕事もある…と思われる方もあるかもしれませんが、そこに下支えしてくださっている方の存在を忘れずにいたいと思います。言葉や態度で表せるともっと素敵だろうなと思いつきながらスイカにかじりつきました。

